

授業科目	保育内容の理解と方法Ⅰ					実務家教員担当科目	－		
単位	1	履修	選択	開講年次	1	開講時期	前期		
担当教員	金谷 めぐみ								
授業概要	・保育士として求められる音楽の基礎技能について教授する ・子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境等と、保育所保育指針に示される保育の内容を踏まえて、子どもの生活と遊びを展開するための技術を学ぶ								
授業形態	対面授業				授業方法	アクティブラーニング、実技			
学生が達成すべき行動目標									
標準的レベル	1. 楽譜を正しく読むことができる。（DP1-2） 2. 呼吸と発声を意識しながら正確な音程とリズムで歌うことができる。（DP1-2） 3. ハ長調、ト長調、二長調の音階を弾くことができる。（DP1-2） 4. ピアノテキストのハ長調の曲を演奏できる程度の技能を身につけている。（DP2-1, 3-3）								
理想的レベル	1. 楽譜を正しく読みながら音程を取ることができる。 2. 正しい呼吸と発声を実践しながら正確な音程とリズムで歌うことができる。 3. ハ長調、ト長調、二長調の音階とカデンツを弾くことができる。 4. ピアノテキストの子どもの歌を演奏できる技能を身に付けている。								
評価方法・評価割合									
評価方法			評価割合（数値）			備考			
試験									
小テスト									
レポート									
発表（口頭、プレゼンテーション）			100			0			
レポート外の提出物									
その他									
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング									
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	－	ナンバリング	WE21624J
学習課題（予習・復習）									1 回の目安時間（時間）
・歌・ピアノの自主練習をする。									1
授業計画									
第 1 回	声楽の基礎：発声の基礎を学ぶ（呼吸法） 器楽演奏技術：ハ長調の音階とピアノ伴奏の基礎 ソルフェージュ：コーリューブンゲン第 2 章								
第 2 回	声楽の基礎：発声の基礎を学ぶ（呼吸法） 器楽演奏技術：ハ長調の音階とピアノ伴奏の基礎 ソルフェージュ：コーリューブンゲン第 2 章								
第 3 回	声楽の基礎：発声の基礎を学ぶ（声と身体の間係を意識しながら歌う） 器楽演奏技術：ト長調の音階とピアノ伴奏の基礎								

	ソルフェージュ：コーリューブンゲン第3章
第4回	声楽の基礎：発声の基礎を学ぶ（声と身体の関係を意識しながら歌う） 器楽演奏技術：ト長調の音階ピアノ伴奏の基礎 ソルフェージュ：コーリューブンゲン第3章
第5回	声楽の基礎：発声の基礎を学ぶ（姿勢について解説する） 器楽演奏技術：二長調の音階とピアノ伴奏の基礎 ソルフェージュ：コーリューブンゲン第4章
第6回	声楽の基礎：発声の基礎を学ぶ（柔軟性を意識しながら歌う） 器楽演奏技術：二長調の音階とピアノ伴奏の基礎 ソルフェージュ：コーリューブンゲン第4章
第7回	声楽の基礎：発声の基礎を学ぶ（子どもへの歌の指導法について解説する） 器楽演奏技術：ハ長調のカデンツとピアノ伴奏の基礎 ソルフェージュ：コーリューブンゲン第4章
第8回	器楽演奏技術：ハ長調のカデンツとピアノ伴奏 子どもの歌の弾き歌い（春・夏のうた） ソルフェージュ：コーリューブンゲン第1章から第4章のおさらい
第9回	器楽演奏技術：ハ長調のカデンツとピアノ伴奏法 子どもの歌の弾き歌い（春・夏のうた） ソルフェージュ：コーリューブンゲン第1章から第4章のおさらい
第10回	器楽演奏技術：ト長調のカデンツとピアノ伴奏法 子どもの歌の弾き歌い（春・夏のうた） ソルフェージュ：コーリューブンゲン第1章から第4章のおさらい
第11回	器楽演奏技術：ト長調のカデンツとピアノ伴奏法 子どもの歌の弾き歌い（秋・冬のうた） ソルフェージュ：コーリューブンゲン第1章から第4章のおさらい
第12回	器楽演奏技術：二長調のカデンツとピアノ伴奏法 子どもの歌の弾き歌い（秋・冬のうた） ソルフェージュ：コーリューブンゲン第1章から第4章のおさらい
第13回	器楽演奏技術：二長調のカデンツとピアノ伴奏法 子どもの歌の弾き歌い（年中行事のうた） ソルフェージュ：コーリューブンゲン第1章から第4章のおさらい
第14回	器楽演奏技術：音階とカデンツのまとめ 子どもの歌の弾き歌い（年中行事のうた） ソルフェージュ：コーリューブンゲン第1章から第4章のおさらい
第15回	実技試験
テキスト	『ブルクミュラー25の不思議』 飯田有抄、前島美保著 音楽之友社
参考図書・教材／データ	進捗状況チェックシートにコメントを記入して返却する

ベース・ 雑誌等の 紹介	
課題に対 するフィ ードバッ クの方法	・これまでまったくピアノを弾いたことがない人でも大丈夫です。音楽の基礎知識を一つ一つ確実に理解していきましょう。 ・ピアノが弾けるようになるためには、とにかく繰り返し練習することです。授業以外の時間にできるだけ時間を作って、ピアノを練習しましょう。 ・これまでまったくピアノを弾いたことがない人は、楽典の基礎で学ぶ音楽の基礎知識を一つ一つ確実に理解していきましょう。
学生への メッセー ジ・コメ ント	